

山弓連

平成14年
第3号
9月16日
発行

成年女子 大健闘

第57回 国民体育大会 関東ブロック大会 弓道競技が8月18日(日)千葉県総合運動場内弓道場で開催され、一都七県から少年男子、少年女子、成年女子の各種別1チーム3名で編成された精鋭が覇を競った。昨年、みやぎ国体で活躍した本県少年男子、少年女子には連年の活躍と、昨年は惜しくも本国体への参加権を得られなかった成年女子の雪辱戦に共に大きな期待が寄せられていた。

少年男子は近的が15中で7位、遠的が104点で3位と振るわず残念。少年女子は近的14中で5位につけ、遠的に期待をつないだが、98点で3位。合計得点10点で、結果的に群馬県との合計点2点差で惜しくも4位にとどまる。

一方、成年女子は遠的から始まり、84点で4位につけ近的に希望を託す。一週間前のリハーサル中に右肘の内離れを起こした大後の保坂亜紀が奮闘し、中立ちの深澤琴歌と共に6中、遠的でチーム中最高の41点獲得した大前の大久保涼子は5中。計17中で2位に食い込む。

この結果、合計点で単独2位の大健闘。昨年の雪辱を果たし、9月20日から高知県で行われる本国体への切符を手にした。

成年女子1位 栃木県 近的18中、遠的105点
2位 山梨県 近的17中、遠的84点
3位 茨城県 近的16中、遠的75点

「寄稿」

全日本弓道選手権大会関東地域代表選手権に参加 佐野辰己先生、河西伊三男先生のアドバイスをいただきながらの初出場でしたが、まるで始めて的に立った初心者のような射を披露して、あっけなく終了。審査会場とは違った雰囲気緊張と熱気。上位進出者の気迫のこもったすどい離れ。立順が来るまでの精神的な調整。私の体に響いてきた、このエネルギーを、これからの精進の糧にし、高い目標に向かって励みたいと思っています。

東八代支部 中村 秀子

” さすが国体選手！ ”

国体選手壮行射会

8月25日小瀬武道館弓道場において第57回国民体育大会弓道競技会へ参加する国体選手壮行射会がおこなわれた。久々の成年男女アベック出場権を得た選手達の健闘を期して、県内5ブロックから1チーム5名、15チームが壮行射会に参加した。成年女子の大久保涼子選手の力強い決意表明の後、男子が第1射場、女子が第2射場に立ち、四ツ矢を披露した。次々に的中を決める選手達の安定した行射に、応援席から「さすが国体選手！」の声があがった。引き続いて、15チームによる射侯8射の対抗戦は、現役、OBの国体選手を多く含む峡北中ブロックBチームが32中で2位との差11中で圧勝した。閉会式の中で会長から、かいじ国体(昭和61年)での山梨県成年男子チームの例を引き「緊張感を味方に付け、調子の良い時こそ気を引き締める」ことの大切さをはなむけに、力強い壮行の言葉をいただいた。

本年度国体選手：

成年男子 荒井 壽一・細野 晃史・中込 実
(監督) 深澤 勇

成年女子 大久保涼子・深澤琴歌・保坂 亜紀
(監督) 小林 弘子

ブロック対抗戦入賞者

- 1位 峡北中Bチーム32中
河西宏斉、山本政樹、中込 実、
深澤 勇、河西伊三男
- 2位 郡内Bチーム21中
佐々木強 曾根 豊 荒井壽一
日向良和 矢頭恵造
- 3位 峡北中Aチーム20中
柳本武彦 小林睦美 中込 明
櫻井健三 小尾幸夫

なお、平素の射会で、閉会式に臨むは入賞者ばかりという淋しい状況が見られたが、当日の射会では、国体選手の壮行という意を体してほぼ全員が閉会式に臨んだ。本国体に於ける選手達の活躍を祈念し、入賞者を讃える場としての閉会式が整い、気持ちの良い射会として締めくくられた。

甲府アベック優勝！！

「県体育祭」

平成14年9月8日

団体 総合優勝・甲府

市の部 (男子)			市の部 (女子)		
順位	市名	的中数	順位	市名	的中数
一	甲府	27	一	甲府	12
二	山梨	18	二	塩山	11
三	韮崎	16	三	大月	10

個人

順位	男子	的中数	順位	女子	的中数
一	細野晃史 甲府	7	一	志村ひさ美 塩山	5
二	竹村栄寿 甲府	6	二	小笠良子 甲府	5
三	組澤篤 甲府	6	三	今沢恵子 塩山	5

団体

町の部 (男子)			市の部 (女子)		
順位	町名	的中数	順位	町名	的中数
一	白根	16	一	櫛形	12
二	石和	15	二	春日居	11
三	櫛形	14	三	富沢	7
四	春日居	14	四	玉徳	7
五	上野原	14	五		
六	南部	13	六		
七	中富	12	七		
八	御坂	12	八		

個人

順位	男子	的中数	順位	女子	的中数
一	河西伊三男 白根	7	一	保坂亜紀 櫛形	6
二	中山和彦 八代	6	二	芦沢理恵 春日居	5
三	中込実 櫛形	6	三	稲葉香織 富沢	5

団体

村の部 (男子)			村の部 (女子)		
順位	村名	的中数	順位	村名	的中数
一	明野	13	一	豊富	10
二	豊富	8	二	明野	7
三	武川	6	三		

個人

順位	男子	的中数	順位	女子	的中数
一	清水豊 明野	6	一	中沢聡美 豊富	5
二	五味新 明野	5	二	深沢みつじ 明野	3
三	風間一仁 武川	4	三	小林文子 豊富	3

連載・公認C級コーチ養成講座の意義するもの

はじめに

教士 七段 佐野辰己

平成12年度の文部省認定、公認C級コーチ資格講習会に山梨県の弓道競技種目から、私が初めて参加させて頂いた。これは、日本体育協会がスポーツ指導者資格の公的認知を得るために、文部大臣認定社会体育の指導者の知識、技能審査事業、競技力向上指導者、初級養成講座として全国各地でスポーツ活動を実施している、チーム、クラブ、グループを対象に特定競技種目における、都道府県レベルでの基礎的専門的な技術指導を目的としますが、クラブおよびグループ等活動組織の育成、指導を目指す者の育成指導を行うことも目的です。

この度、山弓連の新聞連載を依頼され今回からスタート、しかりやすく、如何に弓との関わりがあるかの話を進めていくつもりです。

共通科目の講習会と専門科目の講習会の2回に分けられ行われましたが、今回は講習会の内容のみを掲載しようと思います。

共通科目は5日間ずつ2回合計10日間の講習、専門科目は1回で8日間講習でした。共通科目の講習時間は実質84時間で42時間ずつ2回行い、専門科目は64時間の講習でした。

毎日朝8時から午後9時まで講習を受け、それから夜12時まで勉強し、朝は4時に起きて検定試験勉強、一部屋4人で話し合いながら一生懸命に楽しく勉強しました。通信教育も前半と後半とで89ページの2冊の本を勉強し、与えられた問題7科目を対象にレポートを書き、決められた日迄に提出しなければ後半の講習会に参加できないようになっていました。後半講習会終了後、検定試験7種目で12問行われましたが、スポーツ社会学1題選択、スポーツ心理学2題選択、トレーニング科学4題選択、スポーツ医学(内科1、外科1)の2題選択、スポーツ栄養学1題選択、スポーツ指導論1題選択、地域におけるスポーツ行政1題選択で合計12問あった、1問25分で800字以内で書かないと時間がオーバーしてしまうので大変でした。

今回はスポーツ社会学です。

原稿・メールでお送りください

sindo-02@mx2.nns.ne.jp

新藤康平・甲府市湯村1-7-2

Tel・Fax・055-252-1938